令和６年度　草の根無償資金協力
ヴィシャバネ郡ジェンダーに基づく暴力被害者のためのシェルター案件引渡式

11 月２日（月)、ミッドランド州ヴィシャバネ郡にて、International Day of Rural Women（農山漁村女性のための国際デー）に係る式典の一環として、管理棟兼技能訓練棟及び GBV 被害者保護施設棟１棟の引渡式が実施され、女性・コミュニティ・中小企業開発大臣及び前川信隆駐ジンバブエ日本大使が出席しました。このプロジェクトは、草の根無償資金協力（GGP）を通して 71,940 米ドルの資金が供与され、ジンバブエの非政府組織（NGO）である Local Initiatives and Development Agency（LID Agency)によって実施されたものです。

ヴィシャバネ郡では、特に脆弱な立場にある女性や少女を対象としたジェンダーに基づく暴力が他の地域と比較しても依然として深刻な課題となっており（2023 年には同地域で生活する成人女性の約 14%が何らかの暴力を経験しており、毎月 100 件以上の被害届が提出されている)、被害者に対する支援が急務とされていました。

本プロジェクトで支援した施設では、ジェンダーに基づく暴力の被害を受けた少なくとも年間 70 名の女性や少女に対してシェルターを提供するだけでなく、被害にあった女性が加害者から距離を取るための経済的自立を促すという意味でとても重要な職業技能訓練の提供など、包括的な支援を行うことを目指しています。本プロジェクトを無事に完了した LID Agency は、これまで 10,000 名以上の女性に対して農業に関する訓練を提供した経験を持っており、今後本施設の運営を通してジェンダー暴力被害者の女性の保護・自立支援活動の更なる拡大を目指します。

式典の中で前川大使は、農村部の女性が社会において重要な役割を果たしており、生計の向上、食糧安全保障の強化、コミュニティのレジリエンス強化に向けた必要なスキルや機会を農村部の女性に提供することの重要性を訴えました。また、LID Agency が本プロジェクトを無事に成功させたことを称賛しつつ、今後は同プロジェクトで整備された同施設を活用し、引き続きヴィシャバネ郡のコミュニティメンバーと協力しながら現地の女性を支援していくことを期待していると述べました。





管理棟兼技能訓練棟及び GBV 被害者保護施設棟 1 棟引渡式の様子



施設内視察の様子



日本政府が支援したことを示す看板